

未来に残そう青い海

マイクロプラスチックについて

西本夏菜

1. マイクロプラスチックとは？

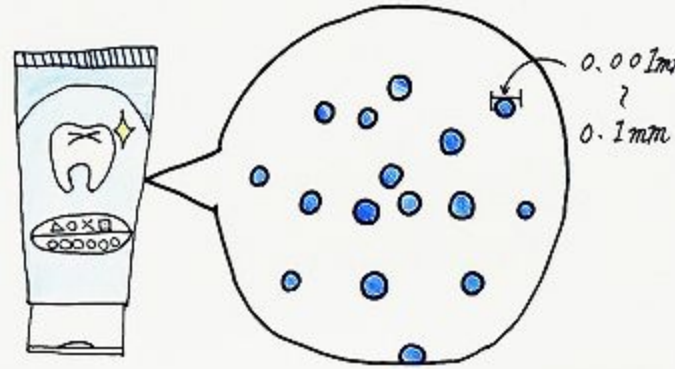


海に流出し、波や紫外線にさらされて細くなったプラスチック片のこと。1次的マイクロプラスチックと2次的マイクロプラスチックの2種類に分けることができる。

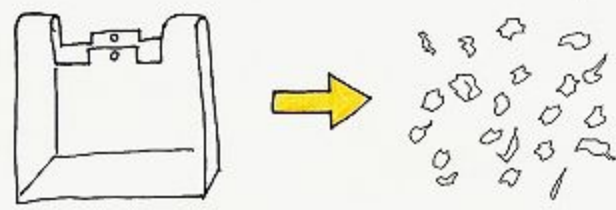
1次的マイクロプラスチック

2次的マイクロプラスチック

微小なサイズ(0.001mm~0.1mm)で製造されたプラスチックで、肉眼では見えないほど細かい。

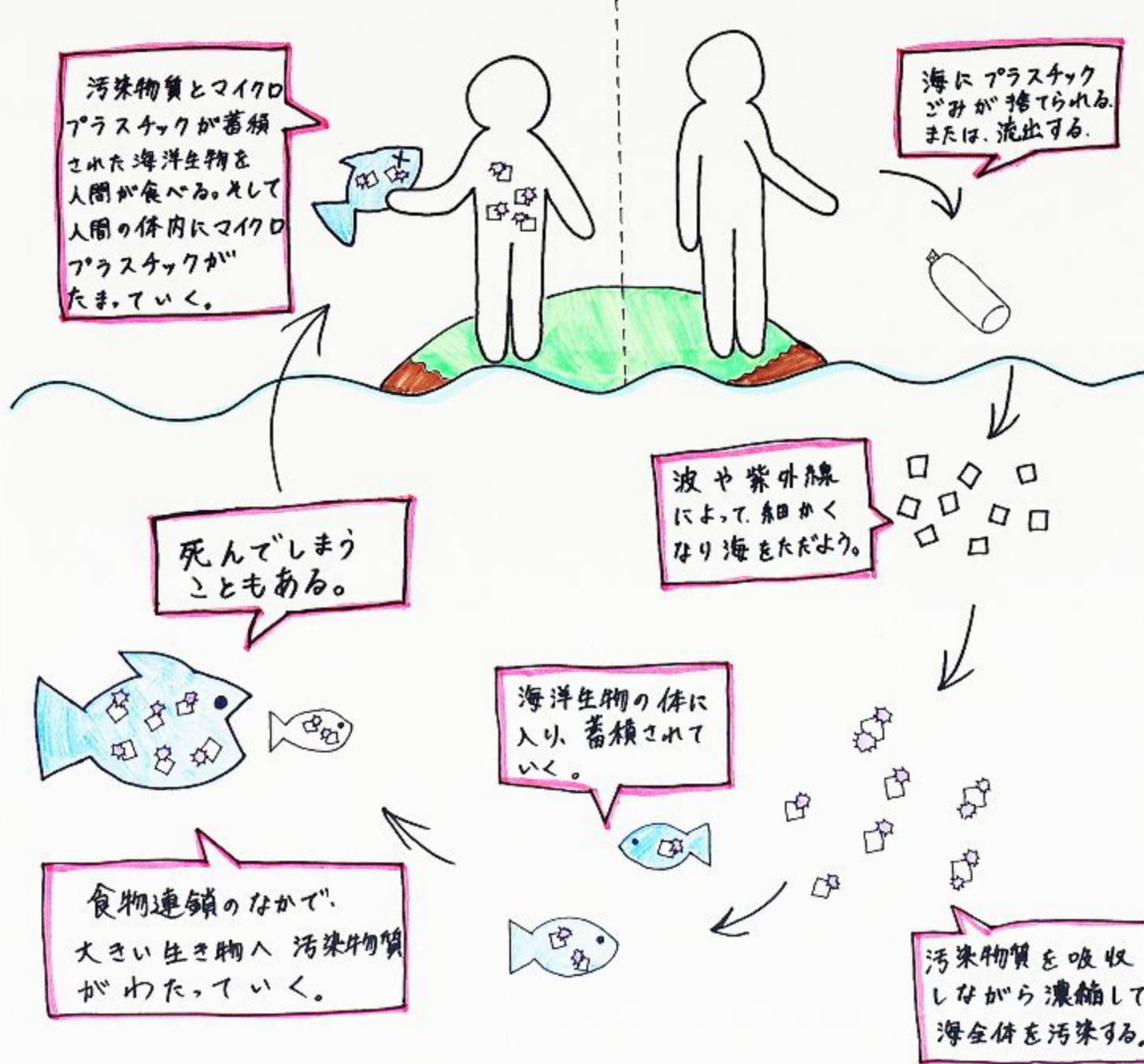


発泡スチロールやペットボトルなどのプラスチック製品が紫外線や波にさらされて細くなったもの。レジ袋は劣化しやすく、軽いため、海に流出しやすい。



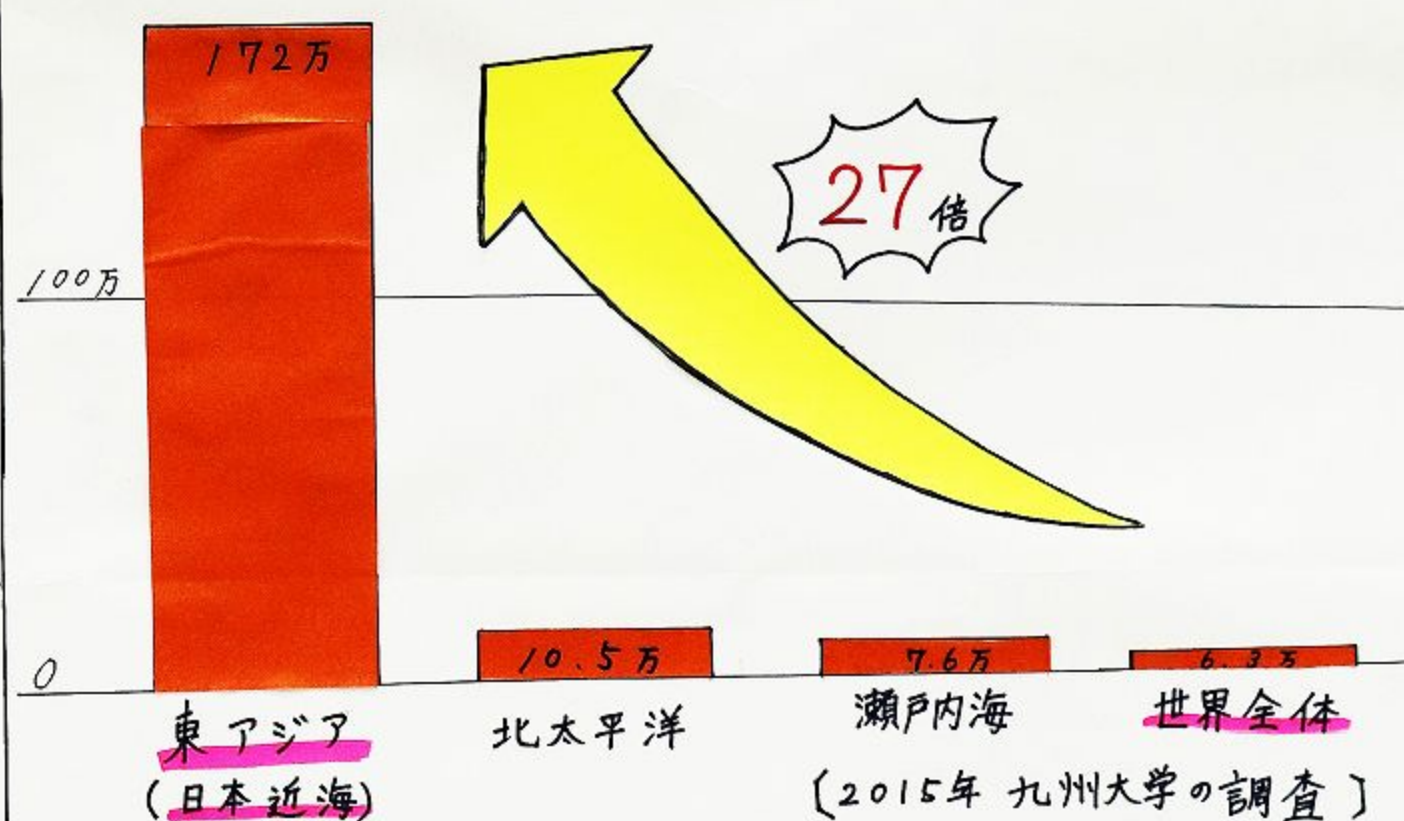
2. マイクロプラスチックの悪影響

細くなったマイクロプラスチックは、汚染物質を吸収し濃縮させ、さらに海流によって地球の海全体を汚染する。それは、海洋生物の体内に入り、食物連鎖により、やがて人間が汚染物質をふくんだ海洋生物を食べることになる。



3. 日本や世界の現状

Japan	World
<ul style="list-style-type: none"> 東京湾の魚(カタクチイワシ)の80%からマイクロプラスチックが検出。 日本人1人あたりのプラスチック廃棄量の年間の質量は32kg。200万 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の食塩の90%からプラスチックがみつかる。 2050年までは、マイクロプラスチックの量が海の魚の量とこえる、といわれている。



↳ 「海1kmあたりに存在するマイクロプラスチックの個数」

4. まとめ・感想

- 私達には見えないだけで、プラスチックによる海洋汚染はかなり深刻で、身のまわりにも影響が出てきていることがわかった。
- このことをたくさんの人に知ってもらい、意識して、生活していけば、少しずつ世界は変わっていくと思う。
- 私たちにできることとして、プラスチック製品に対する「3Rを常識にしていくこと。」が大切だと思う。

